

## 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン（以下「本プラン」という）では、地域子ども・子育て支援事業の一つである放課後児童クラブ事業（子どもの家事業）について、利用者の現在の利用状況と利用希望を踏まえて、計画期間（平成 27 年度～平成 31 年度）の量の見込み（事業のニーズ量）を設定し、各年度における確保方策（事業の提供体制）の内容と実施時期を定めています。

本市の放課後児童クラブ事業は、本プランに基づき、計画期間である平成 31 年度までに量の見込みに対する確保方策を整備していきます。

### 1 放課後児童クラブ（子どもの家）

事業の概要	居宅内労働を含む就労などの理由により、保護者が昼間家庭にいない子ども（小学生）に対し、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る事業です。 現在、16 の各小学校区で 1 施設ずつ運営しています。
平成 31 年度の目標値	全市で 1,666 人分の提供体制の確保を目指します。

### 2 本プランにおける平成 27 年度のニーズ見込み量及び確保方策

（登録児童数）

平成 27 年度	ニーズ見込み量①	確保方策②	差②－①
計 画	1,691	1,521	△170

平成 27 年度の放課後児童クラブのニーズ見込み量は 1,691 人で、計画上の確保方策（ニーズ確保量）は 1,521 人となっています。

### 3 平成 27 年度既に実施済の確保方策（施設整備等）の状況

（登録児童数）

	ニーズ見込み量①	計画上の確保方策②	実績③	差③－②
腰越小学校区	100	108	120	12
深沢小学校区	155	160	177	17
山崎小学校区	123	140	135	△5
大船小学校区	119	119	132	13
計	497	527	564	37

本プランにおいて平成 27 年度のニーズ確保方策として位置付けているこしごえ子どもの家・ふかさわ子どもの家・やまさき子どもの家・おおふな子どもの家において施設建設・施設増床等を行い受入れ児童数の増員を図りました。

#### 4 平成 28 年度当初入所申請における待機状況

(平成 28 年 1 月 26 日現在)

小学校区	第一	西鎌倉	小坂	玉縄	植木	計
待機児童数	14	17	18	5	4	58

平成 27 年 11 月 24 日から 12 月 5 日まで実施した平成 28 年度の子どもの家入所申請においては合計 1,458 人の申請があり、だいいち子どもの家ほか 4 施設で 58 人の待機が見込まれましたが、平成 27 年度当初の待機児童見込数 115 人と比較すると 57 人の減となっています。

その他、にかいどう子どもの家及びおなり子どもの家においても平成 28 年度の当初入所申請において、それぞれ 5 人、25 人の待機が発生する見込みとなりましたが、両施設とも子ども・子育てきらきらプランにおいて平成 28 年度にニーズ見込み量の確保方策を講じる計画としていることから、計画を前倒しし、平成 27 年度中（平成 28 年 3 月末まで）にそれぞれの施設の状況に応じた改修を行い、平成 28 年度 4 月当初から受け入れを行う予定としているため待機見込数はゼロとしました。

#### 5 平成 28 年 3 月末までに実施予定の確保方策（施設整備等：27 年度）

(登録児童数)

	ニーズ見込み量①	計画上の確保方策②	実績③	差③－②
第二小学校区	72	60	82	22
御成小学校区	134	116	145	29
玉縄小学校区	151	84	120	36
計	357	260	347	87

平成 28 年度の子どもの家当初入所申請において待機が見込まれた施設のうち、にかいどう子どもの家及びおなり子どもの家において、平成 27 年度末（平成 28 年 3 月末）までに増床等を行い両施設で 227 人分の受け入れ児童数を確保します。

また、平成 28 年 1 月 26 日以降新たに玉縄小学校区の待機対策としてたまなわ子どもの家の増床を図ることとし、平成 27 年度末（平成 28 年 3 月末）までに 120 人分の受け入れ児童数を確保します。

#### 6 平成 31 年度の確保計画数と平成 27 年度末までの確保実績数（予定分含む）の比較

(登録児童数)

	ニーズ見込み量①	計画上の確保方策②	実績③	差③－②
平成 27 年度	1,691	1,521	1,649	128
平成 31 年度	1,666	1,772	—	—

本プランでは、平成 31 年度のニーズ見込み量 1,666 人に対し、確保方策では 1,772 人分の確保を位置付けています。

本プランにおける平成 27 年度の確保予定量は 1,521 人でしたが、平成 28 年度に予定している確保方策を一部平成 27 年度に実施すること等により 1,649 人分を確保しました。

平成 28 年度以降も、本プランに基づき計画的に確保方策を進めていきます。

## 7 平成 28 年度の確保方策

(登録児童数)

	ニーズ見込み量①	計画上の確保方策②	確保予定数③	差③－②
第一小学校区	164	123	169	46

第一小学校区においては、民間学童保育施設の開所が平成 28 年 4 月に予定されており、平成 28 年度のだいいち子どもの家受入れ児童上限数 129 人に民間学童保育施設の予定定員 40 人を加えた 169 人分を確保します。

	ニーズ見込み量①	計画上の確保方策②	確保予定数③	差③－②
小坂小学校区	171	119	148	29

平成 28 年度の子どもの家当初入所申請において待機が見込まれた施設のうち、おさか子どもの家において、平成 28 年 4 月に増床を行い 148 人分の受け入れ児童数を確保します。

	量の見込み	確保方策
西鎌倉小学校区	107	107
今泉小学校区	96	96

西鎌倉小学校区のにしかまくら子どもの家と今泉小学校区のいわせ子どもの家は、小学校からの距離が市が一定の目安としている 900m 以上離れており、小学校内もしくは小学校周辺への移転が課題となっていました。あわせて、にしかまくら子どもの家については待機の解消も課題となっています。

にしかまくら子どもの家及びいわせ子どもの家については、平成 28 年度にそれぞれ西鎌倉小学校内、今泉小学校内に別棟を建設し移転する工事に着手し、課題となっている小学校からの距離の解消とともにニーズ見込み量の確保を図ります。

## 8 放課後子ども総合プラン

本プランでは、小学生が放課後を安全で健やかに過ごすことができるよう、小学校の施設を活用した放課後子ども教室と放課後児童クラブ（学童保育）を一体的に運営する放課後子ども総合プランを平成 31 年度までに 1 か所以上整備することを位置付けています。

放課後子ども総合プランの検討を進めるため、平成 27 年度に市・教育委員会・学校関係者で構成される「放課後子ども総合プラン検討委員会」を設置しました。

平成 28 年度は、放課後子ども総合プラン検討委員会において、推進体制や安全管理体制など総合的な調整を行い、放課後子ども総合プランの早期導入に向けた検討を積極的に進めていきます。